



# かがやき

るるるるるる  
るるるるるる  
るるるるるる  
るるるるるる

鳴鼓小学校 第13号  
立鳴鼓小学校 津町立

令和4年12月21日  
校長 今井大輔

## 充実の2学期

2学期は、授業日数も多く、学習に適した気候のため、多くの学習内容や学校行事が組まれます。今年度は、1学期と同様にウイズコロナの考えで「3年ぶり」の活動ができたものも多くありました。これまで、代表的なものは学校日よりやホームページで紹介してきました。しかし、それらは、学校教育活動全体からすれば、ほんの氷山の一角です。各学年・学級からの通信、子供たちからの話などで知っていただいていることもあることでしよう。しかし、それだけでは収まりきれない日々の学習や活動を子供たちは積み上げてきています。ぜひ、冬休みには、持ち帰った通知表を見ながら2学期の学びや思い出を話題に話していただければと思います。一度には話さきれないくらいに体験や学びを誰もがしています。子供たちの話の中から成長を感じ取っていただければ幸いです。

### 課題と向き合う6年生

12月2日(金)にメディア安全指導員の稲田純子先生を招いてのメディア講習会、6日(火)に学校薬剤師の森田静悟先生を招いての薬物乱用防止教室が行われました。どちらも6年生が受講しましたが、受ける姿は真剣そのものでした。ゲームやスマホ、SNSなど「依存する怖さ」を再認識できる良い機会となりました。また、遠いようで近い存在である「薬物」に関しても、詳しい説明やロールプレー体験などを通して理解することができました。

## 少年の主張大会

12月4日(日)とぎつカナリホールにおいて、「とぎつ生涯学習を考えるつどい・少年の主張大会」が行われました。そして、主張大会に本校より2名出場しました。1番目に1年生の勝 藍菜(かつあいな)さん「わたしのおとうさん」が登場。大好きなおとうさんへの思いを大きなジェスチャーを交えて発表し、会場は温かな雰囲気になりました。2年生の浅山 來夢(あさやま らいむ)さん「しょうらいのゆめ」は、3番目の登場でした。看護師になりたいという思いを落着いてじっくりと語り、観ている人の心へ響きました。

二人に終了後の感想を聞いてみると「緊張したけど、しっかりとやりきれた」という満足顔でした。低学年時にこのような大舞台を経験することは、今後の大きな糧になります。事前の学校内の発表も含め、二人は大きく成長できたと思います。学校や他の行事などで、自分を鍛え表現できる場を、より多くの子供たちにも経験させてやりたいと思っています。



## 地域の行事のお知らせ

年末年始にかけて、各地域ならではの催し物が行われます。鳴鼓小学校区においても、これまで子供会によるクリスマス会やお楽しみ会、レクリエーションなどが行われてきました。現在は、コロナウイルス感染症拡大防止のために多くの事が自粛されている状況です。しかし、年始の「鬼火焚き(おんのほね)」は、左底・久留里両地区とも実施予定です。ここ2、3年は、子供たちの参加が少ないことに、地域の方も気を落とされています。子供たちがたくさんいるだけで、会が盛り上がりしますので、ぜひ、子供たちに声掛けをしていただければと思います。

鬼火たき(焚き)とは、九州地方に伝わる正月の伝統行事で、正月飾りなどを燃やして悪霊を払い、無病息災や家内安全、一年の幸せを願うもの。

### 左底地区

日時：1月8日(日)

午前10時着火

場所：鳴鼓岳登山道入口広場

(登山道入口から100M)

※くじ引き等のイベント有

### 久留里地区

日時：1月8日(日)

午前9時30分着火

場所：先久留里ふれあい広場

※両地区とも準備物等不用です。詳しくは、自治会からの案内チラシをご覧ください。

## しづやき

景色や食べ物、気温など季節の移り変わりを感じさせるものがたくさんある。鳴鼓小を下った町道左底く横尾線の両脇にはイチヨウ並木がある。綺麗に色付いていたイチヨウが今はほぼ落葉してしまっただけ。先日、落葉したイチヨウの葉を集めている地域の方と接して、子供たちへの思いを知る機会があった。「登下校中に色付いたり、散ったりするのを見て、季節を感じてほしいんですよ。散らるとか滑るとか言うけど、掃除を私たちがすればいいことよ。」と語られていた。日曜日には、声を掛け合って多くの地域の方で掃除をしているそうである。こういった地域の方の思いのおかげで毎年のように綺麗な景色を眺め、季節を感じ取ることでできていることに感謝したい。

また、上記にも紹介しているが、「鬼火焚き」も各地区の青少年協を中心に行われ、「子供たちのために」との思いが詰まっている行事である。

最近、年の瀬や年始を感じるものが少なくなったように思う。以前は、空き地や公園で子供たちが凧上げやこま回しをしたり、玄関や自動車のフロント部分には、しめ縄を飾ったりしている風景があらちこちにあった。正月三が日は、商店はほとんど閉まっており、正月特有の雰囲気があった。今は、初売りが元日からあり、店も普段とほぼ変わらず開店しているところも多い。そんな現代こそ、景色を眺めて移り行く季節を感じ、行事に参加して体感し、更に家庭で季節の食べ物を味わったり、言葉をかわたりすることが大事なのではないかと思う。